

やぶと

主な内容

P1...0円サマーキャンプ in 西原村

P2...7月~9月活動報告

P3...7月~9月活動報告

P4...たんぽぽお歳暮2011他

e-mail:tanpopo-happy3232@opal.plala.or.jp

福島の子供たちを元気に!

0円サマーキャンプ in 西原村



平成 23 年 8 月 10 日、福島県の小学生から中学生の子供達約 50 人が熊本空港に降り立ちました。宇土市にある NPO 法人青年協議会の呼びかけで、夏休みの間、福島の子供たちを熊本に招待して、夏休みを楽しんでもらおうと企画されました。費用は 0 円! 全てこの企画に賛同して頂ける方々のボランティアで、この企画に賛同して頂いたたんぽぽハウスが兄姉 2 組の 4 名 (9 歳から 13 歳) を受け入れることになりました。8 月 10 日から 20 日の熊本に滞在する期間の 12 日から 16 日のお盆を挟む 5 日間、西原村で過ごすことになり、少しでも西原村での滞在を楽しんでもらおうと、各方面に協力を呼びかけました。西原村教育委員会、泉力の湯、エミナース、山田牧場、阿蘇ミルク牧場、やまの囲炉、コッコロイチキン、ユーパレス弁天などの多くの方々が、その趣旨に賛同し快く協力に応じてくださいました。また、西原中学校 1 年生の有志と河原小学校 6 年生の有志の 6 名が福島の子供達と同行してくれることになりました。福島の子供たち 50 人は、10 日に熊本空港に到着後、それぞれの受け入れ先に散らばり、17 日に宇城市に集合し、熊本市、天草、阿蘇を全員で観光し、再び阿蘇西原村の風流に集合する予定になっていました。西原村に来た 4 名は、中学生の同行ボランティアと共に、萌の里の夏祭り、チャリティーバザーをし、泉力の湯の温泉につかり、エミナースでは久しぶりのプールやウォータースライダを体験し、風の里キャンプ場でバーベキューをし、山田牧場で乳搾り体験、阿蘇ミルク牧場ではカブト虫の収穫体験、やまの囲炉では地鶏料理を堪能しました。最終日前日の 19 日には、西原村でブルーベリー狩りを体験した後、風流にてオーガニック料理のフルコースを堪能しました。最終日、熊本空港では、真っ黒に日焼けした福島の子供達と、熊本の受け入れ先のボランティアの方々のお別れとなり、あつちこつちで泣き出す子供達が出てきて、それをなだめるボランティアさんとで熊本空港の一部が涙に包まれました。

今回沢山の方々にご協力を頂き、本当にありがとうございます。また、東北への思いが皆さん一緒だということもよく分かりました。現在も福島は、震災と原発による二重の苦しみが続いています。しかし、この子供たちが、いつしか素晴らしい故郷を蘇らせてくれることを願って止みません。そのため協力を今後も続けて行きたいと思えます。

たんぽぽ活動報告7月～9月

棚田の米作り



今年もたんぽぽのお米作りが始まりました。西原村小野地区にある棚田は、西原村でも特に美味しいお米が採れる所です。その棚田でのお米作りを始めて今年で7年目。化学肥料や農薬を使用しないたんぽぽのお米作りは、昔ながらのお米作りになります。6月の中旬から始まった田植えも7月に入ると除草作業が始まり、アルミ製の水田除草機を苗と苗の条間に入れて行きます。ゴロゴロと水田を転がすように入れて行くと小さな雑草が浮いてきます。その後は、畦草刈りとヒエ取りが主な仕事となり、メンバ―は、日に日に真っ黒に日焼けしていきました。そして、10月中旬、今年も無事自然米の収穫を終え、現在は昼食に出来立ての新米を美味しく頂いています。やっばりたんぽぽのお米は美味しいです！

ワークキャンプ

8月10日(水)、西原村社会福祉協議会主催のワークキャンプに参加している山西小学校・河原小学校の子供達16人が、夏休みを利用してたんぽぽハウスを訪れてくれました。たんぽぽハウスを初めて訪れた子もいて、施設長からたんぽぽハウスの成り立ちなどを聞いていました。その後、みんなで手話教室となり、自分の名前や挨拶、動物などの手話を学びました。最初は少し緊張気味だった初めての子供達も徐々に慣れてきて、想像力を働かせて色々な手話に挑戦していました。



萌の里夏祭り



8月13日(土)、萌の里にて夏祭りが行われました。今年度は、福島の子供達と、西原中学校の有志ボランティア3名が加わり、いつも増して賑やかな大所帯でのバザーになりました。昨年は、雨に見舞われたこの祭りも今年は晴天に恵まれ、昨年以上のお客さんが萌の里に詰め掛けました。子供達は、チャリティーバザーをしようとして自分たちで作ったフルーツポンチを販売しました。始まって早々にたんぽぽハウスの前は行列となり、用意していた全てが完売となりました。外で遊ぶことの出来なかった福島の子供たちに夏祭りを体験させるのが目的でしたが、打ち上げ花火の直前に突然のスコールに見舞われてしまいました。しかし、雨の降る中、濡れながらもじっと打ち上げ花火に見入っていた福島の子供達の姿がとても印象的でした。

相談員連絡協議会視察

8月24日(水)、西原村相談員連絡協議会の皆様28名の視察がありました。相談員連絡協議会とは、行政相談委員・人権擁護委員・少年補導委員・民生、児童委員・少年非行委員などからなる行政・人権・青少年・心配事の相談業務の連絡協議会のことで、今回、地域活動支援センターとして活動しているたんぽぽハウスの視察に来られました。施設長から、たんぽぽハウス通信「ゆるっと」や活動報告等を資料に基づき説明がありました。たんぽぽハウスでは、知的・精神・身体の不障害に関わらず、引きこもりの方や、軽度の認知症の方なども受け入れ、家族的雰囲気の中、支え合いながら日々仕事をしています。地域には、まだまだ手を差し伸べられていない方々が大勢居られます。各方面で、そのような方の御誘いをお願いします。



24時間テレビ



8月27日(土)、阿蘇ミルク牧場にて24時間テレビの募金活動をしました。2006年に阿蘇ミルク牧場が24時間テレビのミドルバンクとなり、たんぽぽハウスがその募金活動のお手伝いをするようになって今年で6年目。ボランティアには、西原村観光推進協議会・西原中学校生徒会・UD熊本・西原手話サークルの皆さんも当初から一緒にやってきました。今年も、3月11日に東日本大震災があったことで今回の24時間テレビにかける思いも皆さん真剣さが違っていました。8月も終わろうかというこの日の気温は34℃を超える暑さ。しかし、休みなく訪れるお客さんに懸命に大声で募金を呼び掛けていました。

西原村夏祭り

8月27日(土)、阿蘇ミルク牧場にて、商工会主催の西原村夏祭りが催されました。昨年は、宮崎県の口蹄疫の問題が熊本へも波及し、様々な催し物が中止になる中、西原村の夏祭りも中止となりました。約2年ぶりとなった今回の夏祭りはお天気にも恵まれ、まだ明るいうちから沢山のお客さんが見えになりました。出店の方では、たんぼぼハウスの他、商工会や様々なボランティア団体も出店を出し、昨年の分も取り返す勢いで威勢のいい掛け声が上がっていました。ステージでは、夢運太鼓、からいもダンスサーズなど、地元でおなじみのメンバーがステージを盛り上げていました。祭りの締めは、目の前で上がる打ち上げ花火。その迫力は、他には無いこの祭りの醍醐味の一つとなっています。



みどりの館「敬老秋祭り」



9月24日(土)、西原村にある特別養護老人ホームみどりの館において「敬老秋祭り」が催されました。みどりの館の駐車場に特設会場が設置され、ステージ、客席、出店などが立ち並びました。たんぼぼハウスとしては、今回で3回目の出店となります。今回のお祭りには、西原中学校1年生の女の子の有志が東日本大震災のチャリティーバザーをしようと前日にたんぼぼハウスの厨房を使ってスウィートポテトを160個作って参加しました。今回も沢山のお客さんに来て頂きスウィートポテトやたんぼぼのお好み焼きもほぼ完売しました。ステージでは、琉球國祭り太鼓や童謡歌手の星野ひな子さんなど豪華ゲストがステージを盛り上げていました。

恒例の「りんどうの会昼食会」

9月27日(火)、西原村の脳血管障がい者の会「りんどうの会」の皆様が、たんぼぼハウスを訪問されました。不定期で行っているワンコインランチを毎年この時期に食べに来て頂いています。今回は、仲間達が一生懸命作った棚田の美味しいお米と、仲間達が分担して作った手作りのお料理を堪能してもらいました。仲間達は、日頃から当番制で昼食作りをしているので料理の腕は相当上達しています。今回は、それを存分に発揮してもらいました。炊き込みご飯・のっぺ汁・チキンカツ・ポテトサラダ・里芋とクリームチーズの団子・御煮しめ・栗と小豆の甘煮など、それぞれ分担して作りました。どれも好評で喜んで召し上がって頂きました。仲間たちも喜ばれてとても満足げでした。



子育て支援と収穫体験



9月29日(木)、さわやかな秋の下、たんぼぼハウスの畑で収穫体験が行われました。今回お見えになったのは西原村保育園にある「子育てサークル」のお母さん12名とお子さん14名の計26名の参加でした。今回は、ちょうど収穫時期だった落花生の収穫をして頂きました。約50aに作付された落花生畑までたんぼぼハウスから徒歩5分で行けます。親御さんもほとんどの方が初めての落花生収穫体験ということで、子供さんそっこのので楽しんでおられました。落花生は、開花後、受粉した雌蕊が地中に潜り込み実を付けます。まさに、花が落ちて生るのです。子供達は、裸足になって、素手で土や作物に触れ五感で自然を体験していました。収穫した生の落花生は、自宅で塩ゆでし、家族に大変好評だったそうです。

義援金贈呈式

9月30日(金)、西原中学校校長室において、東日本大震災チャリティーバザーの収益金の贈呈式が行われました。これは、9月24日みどりの館「敬老秋祭り」において西原中学校1年生の有志4名がバザー活動をを行ったもので、売上金14100円を義援金として日本赤十字社西原分區に寄付されました。震災から半年が過ぎ、日本中が少しずつ忘れてきている今日この頃。義援金の額も最近では少なくなっていると聞いています。しかし、彼女達は夏休みに福島の子供達とのつながりができ、東北の復興を願う気持ちで以前より強くなりました。贈呈式当日は西原村社会福祉協議会の秋吉局長はじめ、校長先生の前ということもあり緊張しっぱなしの子供たちでしたが、校長先生から「君達の活動を先輩にも広げていってください。」と励ましの言葉と頂くと、ちよつと照れながらも笑顔で答えていました。



たんぽぽ お歳暮2011



(※写真は昨年のお歳暮セットです。)

昨年、大変好評を頂きましたたんぽぽハウスのお歳暮セット。今年はさらにグレードアップしてご提供いたします。総額 4000 円以上のたんぽぽオリジナル製品詰め合わせを 3000 円で販売致します。無肥料無農薬の農産物や、種まきから製品作りまで一貫してこだわり抜いた製品まで、どれも自信を持ってお届けいたします。たんぽぽメンバーが心をこめて作ったこれらの商品は、他では手に入らないお歳暮商品と自負しております。

(※内容は、昨年と多少異なることがあります。)

ご注文の受け付けは**11月30日(水)締め切り**で

NPO法人にしはらたんぽぽハウス (096-279-3666)

までご連絡ください。

「東日本復興応援フリーマーケット」ご協力をお願い



11月20日(日)に行われます西原村ふれあい祭りにおいて、たんぽぽハウスと西原中学校の生徒さんと「東日本復興応援フリーマーケット」を行うことになりました。日用品や家電用品、お中元・引き出物などご家庭で眠っている品物が御座いましたら、たんぽぽハウスもしくは西原中学校までお届け下さい。御電話頂ければ、取りに伺います。売上金は全額日本赤十字社を通して被災地の復興支援に使われます。是非ご協力のほどをよろしくお願い致します

※締め切りは、11月18日です。

【御問合せ先】

- NPO 法人 **にしはらたんぽぽハウス (096-279-3666)**
- 西原中学校 (096-279-2003)

※古着・縫ぐるみ・中古のおもちゃ・古本はご遠慮ください。



編集後記



たんぽぽな風景

11月は、農作業の合間に御歳暮商品の製造に追われています。毎年好評を頂いて、年々増加傾向で本当にうれしく有り難く思っております。この時期が一年でも一番忙しい時期で、たんぽぽ製品のほとんどが手間のかかる地道な作業なので大量生産できません。しかし、それでも手を抜かないメンバーを誇りに思い尊敬しています。受け取られた方の笑顔を思い浮かべながら、御歳暮戦線真ただ中です。

先日、福島から小荷物が送られてきました。そこには、「震災以来、子供達の外部活動は全くなく、放射能でダメな生活と会話で親子共々ストレスが倍増してしました。...2週間ぶりに子供達と会おうと「ただいま」面白かったよ!」「楽しかった!」「プールの...」話したいことが沢山あり、私だけでは足りない位でした。...何年間分かの夏休みを体験してきたようです。この出会い、皆様に感謝しております。と、福島の特産品と共に手紙が入っていました。子供達からも感謝の手紙が同封されており、つい昨日のことのように思い出されました。西原中学校の同行ボランティアの子たちとも連絡を取り合っているようでした。今後のチャリティー活動のモチベーションも上がる思いです。

(編集員久保田)

11月～12月行事予定	
11月	下小森ふれあい感謝祭 菊池養護学校実習生 西原村ふれあい祭り 御歳暮セット作り 大豆収穫 落花生収穫
12月	御歳暮発送 薩摩芋収穫 クリスマスピザ作り 子育て支援サークル交流